

学校法人 加計学園

平成20年度事業報告

【 岡山理科大学附属中学校 】

I. 事業の概要（総括）

開校7年目を迎えて、創立以来最多の第7期生61名が入学しました。更なる入学者の確保を目指して

- 1) 対策ワーキンググループを編成し、入試広報活動を計画的に進めました。
- 2) 1期生の進学実績を広報に活用しました。
- 3) 神戸会場を新設し、関西地区の広報を積極的に進めました。
- 4) 課外活動（部活動・委員会活動）について、ソフトテニス部、女子バレーボール部を発足させることとなり、広報活動を強化しました。

その結果、過去最高の志願者数218名を達成しました。入学者数については、残念ながら55名と過去2番目の数にとどまりました。依然として、入学定員80名に対して入学者数が定員割れの状況にあるのが現状であります。

そのほか、第5期生32名が義務教育課程を修了し、うち26名がそのまま中高六年一貫コースの高校に、1名が附属高校理大コースに、1名が健康スポーツコースに進学が決定しました。

II. 学校の概要

1. 生徒の定員現員数

（平成20年5月1日現在）

	定員数		現員数			
	入学定員	収容定員	1年	2年	3年	合計
岡山理科大学附属中学校	80	240	61	38	32	131

（単位：人）

2. 学年暦

	学年始休業	入学式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	修了式
岡山理科大学附属中学校	4月1日 ～ 4月7日	4月9日	7月20日 ～ 8月31日	12月25日 ～ 1月7日	3月21日 ～ 3月31日	3月17日

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育活動の進捗状況

中高六年一貫コースの目標として、全国難関大学や医歯薬学系大学への進学を目指しており、六年の課程を前倒しで進めるとともに、全国模試や各種検定試験指導を強化しました。全国模試や各種検定とともに、一学年上のレベルに挑戦させ良い実績を得ました。数学検定では、中学3年生のうち1人が準2級（高校中級レベル）に合格しました。同様に、英語検定では1年生1人と3年生1人が2級、中学生2人が準2級、漢字検定では2人が2級、2人が準2級に合格しました。

6月に3年生が南オーストラリアのバンクシャー・インターナショナルハイスクールに海外研修旅行に行き、相互の交流を深めるとともに、ファームステイも体験して文化の違い等を学んで帰国しました。また、1年生は玉野総合医療専門学校で介護体験実習を、2年生は倉敷芸術科学大学で陶芸、ガラス工芸実習を行いました。

部活動においては、ソフトテニス部が創部1年目にも拘わらず男女とも揃って中国大会出場を果たし、団体女子が優勝、団体男子が3位になるなど活躍いたしました。また、女子バレーボール部においても中国大会出場を果たしました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成20年5月1日現在)

	入学者		
		留学生	社会人
岡山理科大学附属中学校	61		

(単位：人)

卒業者数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	修了者	退学者	除籍者	休学者	留年者※
岡山理科大学附属中学校	32				

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数

(単位：人)

2. 生徒の募集・広報

岡山市、倉敷市、赤磐市、備前市、神戸市、加古川市、姫路市、相生市を中心に塾訪問及び小学校訪問を行いました。7月、8月、9月、10月、11月、12月にそれぞれオープンスクール及び入試説明会を行いました。7、8月に開催したオープンスクールに実験教室、バレーボール教室、ソフトテニス教室、イメージ教育の授業、講演会を組み込み約900名の参加者を得ました。

3. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	19年度決算額	20年度決算額
学納金収入	51,777	77,644
補助金収入	49,339	50,395
その他収入	2,788	24,849
帰属収入合計	103,904	152,888
基本金組入額合計	△ 182	△ 939
消費収入の部合計	103,722	151,949
人件費	170,112	211,572
教育研究経費	30,687	35,789
管理経費	12,571	15,504
その他支出	0	0
消費支出の部合計	213,370	262,865

○収支改善対策の具体的取組と効果

来年度以降も、志願者数、入学者数の確保が急務となっております。広報活動の強化により、過去最高の志願者数を確保しましたが、定員割れの状況には変わりはなく、定員を充足させることが最低限の目標となります。

人件費の伸びを抑えながら経費の削減にも努めましたが、入学者数が定員を下回っているため、より一層の入学者の確保に努めていきます。